

# 高知福祉専門学校

学校新聞 6月号 学校の行事や魅力を毎月お届けします！

## 授業に潜入してみました！ ～レクリエーション基礎実技～

こども福祉学科



高知福祉専門学校では、主に社会福祉士・介護福祉士・保育士・幼稚園教諭を養成しており、2年間あるいは3年間で専門的な勉強をします。その中で具体的にどのような科目、内容を勉強するのか気になり、実際に学生と一緒に授業を受けてみました。その様子を一部ではありますが、レポートしたいと思います。

今回潜入した授業は、こども福祉学科・保育士コース2年生の『レクリエーション基礎実技』という科目で、植田校長先生が担当しています。

まず始めに、学生自ら考えたレクリエーションを行いました。というのも、1年次に行った『レクリエーション概論』という科目では、植田先生から様々なレクリエーションを学び、体験します。そして、2年次ではレクリエーション概論の応用科目ということで、対象者や対象年齢、配慮すべき点を踏まえたレクリエーションが行えるように、実際に1人でレクリエーションを企画します。また、人前が苦手な学生でも、現場では子ども達の前に出ることになります。その練習の意味も込めてクラスメイトの前で披露します。

さらに授業の最後には、そのレクリエーションに対して植田先生からアドバイスをもらうだけでなく、一人ひとりが振り返り、自分が体験したからこそ分かる、楽しさ・良かった点や改善点・配慮点を考え、自分オリジナルのレクリエーションにアレンジします。

『レクリエーション基礎実技』の授業には、レクリエーションや手遊びを行う際に欠かせない企画力やアレンジする力、人前で披露することに慣れるなどといった沢山の要素が詰まったものだと感じました！

次は、その名の通り、場を和ませたい時に活用できる手法『アイスブレイク』を教えてもらいました。2人一組でお互いに向き合い、左手は『チョキ』・右手は『グー』にし、相手の『チョキ』の手の上に重ねます。そして、『でんでんむしむしかたつむり～♪』の音楽に合わせて、右手は『グー→チョキ→グー』、左手は『チョキ→グー→チョキ』と交互にし、相手の『チョキ』の手の上に『グー』が来るように手を移動させるゲームです。

そして次には、全員で大きな輪を作り、手を横に広げ、同じように『グー』と『チョキ』を交互にさせます。2人での時はリズム良くできていた学生たちも、大苦戦！！ただ、「難しい！」と言いつつ、とっても楽しそうに行う姿が見られました。さらに、「難しい」という声にもあるように頭を使うゲームで、脳を活性化させるというメリットもある、と植田先生から教えていただきました。お互いを知っている間柄とはいえ、場が和んだというアイスブレイクの目的や脳の活性化にもつながるという効果が、自ら体験することで実感でき、今後により活かせるのではないのでしょうか。



# 授業に潜入してみました！ ～社会の理解～

介護福祉学科

次に潜入した授業は、介護福祉学科1年生の『社会の理解』という科目で、介護福祉学科教員・椿先生が担当しています。

今回のテーマは、『年金保険』についてです。まず年金保険とは、大きく分けて老齢年金・障害年金・遺族年金に分かれており、それぞれ1階部分の国民年金、2階部分の厚生年金が対応しており、さらに3階部分には確定拠出年金や最近よく耳にするiDeCo等があるという内容でした。さらに、国民年金や厚生年金の保険料、納付期間、受給要件、年金額といった制度について学びました。

その中で、現在支払っているものは『保険料』で、将来貰うものが『年金』だと分かり、何気なく支払っているものでしたが、今回勉強しただけでも年金保険への理解が深まりました。まさに『社会の理解』という科目名そのものだと感じました。

『社会の理解』は介護福祉士国家試験にも出題される分野でもあり、今回の授業しか受けていませんが、介護福祉士として一人ひとりにあった包括的なサポート・支援を行う為には介護技術だけではなく、法律や制度、社会問題等といった社会の構造を知っておく必要があると実感しました。

## 6/21 『高齢者の歩んだ時代』発表会

介護福祉学科

6月21日、介護福祉学科1年生による発表会が行われました。『高齢者の歩んだ時代』というテーマで、1942（昭和17）年から1997（平成9）年の間に、日本や身近な地域で起きた出来事、流行したものを学生がそれぞれ分担し、発表しました。

よりよい介護・コミュニケーションを行う為には、その人自身をよく知ることが欠かせません。今の学生にとって未知となるこの年代は、実習や就職先で関わる方々がこれまで生きてきた時代。その時代を知ることで、自分たちが関わる方々の価値観や思いを考える機会やコミュニケーションツールの一つになれば、との思いからこの発表会は行われました。

各自が資料、発表用のスライドを作成し、生まれ育った地元の出来事やゲーム・車など自身が興味のある分野の出来事も入れつつ、一人ひとり違った発表で、聞いていて楽しかったです。また、1951年に発行された500円札が1982年には500円硬貨に変わったことや、1984年に高知県で『黒潮博覧会』というイベントが開催されたことなど、勉強になることも多かったです。

この会には、介護福祉学科2年生も参加して一緒に1年生の発表を聞きました。1年生・2年生ともに6月下旬からの実習を控えた時期に知ることができ、学生にとって良い機会になったことでしょう。日々の学習に加え、今回の発表も活かし実習がんばってきてね！！



(記者：広報部津野)

オープンキャンパスの  
お手伝いを  
してくれました!



学校全体が  
一丸となって  
参加者をお迎えます!



休み時間は  
近くの公園で  
過ごすことも



# CAMPUS LIFE

在校生の日常

授業に実習、試験にアルバイト…  
充実した日々を送る学生たちのオフショットを集めました!

学生自ら  
カメラマン!



放課後に  
パシャリ♪



雑誌取材中の  
ワンショット